

令和 6 年度事業報告書

1. 法人の概要

名 称 学校法人 門真めぐみ学園（昭和 46 年 4 月 1 日法人設立）

代表者 理事長 岡崎 恭子

住 所 門真市四宮 3 丁目 10-24

電 話 072-882-0071

F A X 072-882-0085

設置する学校

住所 門真市四宮 3-10-24

名称 門真めぐみ幼稚園

めぐみっこクラブ（小規模保育事業）

めぐみ白鳥こども園（幼保連携型認定こども園）6-7-13

役員・教職員の概要

理 事 6 名

監 事 2 名

評議員 7 名

教職員 42 名

定員及び園児数の状況

		定員（人）		実園児数（人）	クラス数
めぐみっこ	1 歳児	6		4	
	2 歳児	12		12	
	合計	18		16	
門真めぐみ幼稚園	満 3 歳児	25		3	1
	3 歳児	105		38	2
	4 歳児	210		54	2
	5 歳児	210		50	2
	合計	550		145	7
めぐみ白鳥こども園	0 歳児	6		0	
	1 歳児	10		0	
	2 歳児	11		7	
	3 歳児	6	12	7	1
	4 歳児	6	12	6、6	1
	5 歳児	6	12	2、11	1
	合計	81(1 号 18 人含む)		39	3

令和 6 年 5 月 1 日現在

2. 門真めぐみ幼稚園・めぐみっこクラブ・めぐみ白鳥こども園の概要

《教育方針》

「あたたかい心の教育」

《保育料及び諸経費》

保育料：無償

園バス維持費：2,000 円（月額）

環境衛生費：500 円（月額）

保護者会費：750 円（月額）

協力費：500 円（月額）（検診費・保険料・諸行事費）

入園料：35,000 円（幼）

施設設備費：15,000 円

※施設設備費に限り、兄弟及び姉妹が在園もしくは同時入園に限り弟妹分を免除する場合あり。

※行政による認定、各施設によって各費用負担が異なる場合あり。

《預かり保育の時間及び費用》

門真めぐみ幼稚園

月～金曜日：7 時 30 分より幼児教育終了後～18 時 30 分

月極：7,000 円(新 1 号) 臨時：450 円(17:00 まで)・600 円(18:30 まで)

長期休業中の預かり保育あり（夏・冬・春）日額 1,000 円

めぐみ白鳥こども園

月～金曜日：7 時 30 分より幼児教育終了後～18 時 30 分

350 円(16:00 まで)・800 円(18:30 まで)・1150 円(19:00 まで)

《行事の主な実地状況》

4 月 入園式・始業式・身体測定(毎月)・誕生会(毎月)・春の全国交通安全運動参加

5 月 園外保育・こどもの日の集い・保護者参観・花まつり

6 月 健康診断・園庭開放・1 日入園・保護者参観

7 月 学期末懇談会・七夕の集い・七夕まつり音楽会
盆踊り（規模縮小）・終業式・年長児おたのしみ会

8 月 夏休み・夏期保育(6 日間)

9 月 始業式・避難訓練・敬老参観・園庭開放・1 日入園
お月見の会・秋の全国交通安全運動参加

10 月 運動会・翌年度入園児面接・園庭開放・避難訓練

11 月 1 日動物園・門真市スポーツレクレーション大会参加

12 月 生活発表会・餅つき・年末感謝祭・終業式・冬休み

1 月 始業式・製作展（3 部制、分散実施）

2月 節分豆まき・小学校見学(中止)・避難訓練

3月 ひなまつり音楽会・ひなまつりの集い・卒園遠足・お別れ会・
卒園式・終了式

※めぐみ白鳥こども園・めぐみっこクラブは一部実施

《施設関係》

園地総面積 2,862 m² 運動場面積 1,322 m² (門真めぐみ幼稚園)

園地総面積 1,871 m² 運動場面積 489 m² (めぐみ白鳥こども園)

明るく広々とした緑豊かな園庭 水車の情緒豊かな憩いの場所

《主な事業の目的・計画》

- ① 幼児教育無償化により、順次デジタル化（領収書・証明書の発行。登降園・連絡の一括管理等）を順次計画、ICT 補助金を活用し、PC、iPad の購入を計画。
- ② 施設設備について老朽化した遊具や保育室の備品（机・椅子・ロッカー等）を随時補修している。特に、トイレ改修工事を計画中（しかし近隣の小学校がまだ和式のため、幼小連携もありなかなか進展しない）。また、車庫のシャッターが老朽化、手動のため男性でも開閉が難しく、私立学校整備補助金を使ってオートシャッターを計画中。
- ③ 保育内容の向上を目指す。前年度に引き続き「絵本に親しむ」をさらに「童謡童話を親しむ」に発展させ、絵本・童謡・童話を通して「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識する。
- ④ 昨年度より「子育て支援」の層が2歳児より1歳児を重視、一時預かり事業を令和4年度より受け、少しずつ地域の方に周知していきたい。門扉等にチラシを貼ることを計画した。
- ⑤ 保護者の要望により、コロナ禍以前の行事を重視し、月に一度以上の保護者の来園の機会を検討中。
- ⑥ 職員の事務作業軽減のため、「要録」を手書きからパソコン入力へ移行する等、システム機能を徐々に導入。
- ⑦ めぐみ白鳥こども園は職員の産休・育児休暇の取得を推進。そのため、休暇・復帰予定の職員数に合わせて園児募集数を調整。また保護者のニーズもあり、遊具設置も検討。

《事業報告》

- ① 小規模保育事業めぐみっこクラブが5年目を迎え、少しずつ利用者が増加した。1歳からの発達の連続性を視野に入れ幼児教育の充実を目指した。
- ② 施設設備について
今年度トイレの改修は断念、車庫のシャッター改修計画も次年度に持ち越し。

- ③ 保育内容について、1日の保育を振り返り「10の姿」を意識した保育を目指したが、新人が2名、2年目2名で経験不足のため、毎日園児を無事に忘れ物なく降園することに主点をおいた日々が続いた。
- ④ 「子育て支援」「地域の連携」として、未就園児保育「めぐみ広場」を月1回開催、昨年度に引き続き地域の民生委員と協力しあって乳幼児対象に子育て支援（人形劇、親子ふれあい遊び等）を実施、参加者も多く、次年度も開催して欲しいとの声を頂いた。園庭開放の回数を増やし、子育て相談も実施した。
- ⑤ ラクダブドームでの運動会、生活発表会・花まつり等の行事を「おやじの会」の方々に手伝ってもらったり、お父さんの参加者も募り1人でも多くの保護者と職員の接する機会を増やしたところ、お母さんだけでなくお父さんとの信頼関係も築かれた。行事についてもスムーズに行うことができた。
- ⑥ めぐみ白鳥こども園では、夏祭り・運動会・発表会を開催し、幼児教育の質の向上を重視すると同時に保護者との交流を増やした。また新たに遊具を設置。